

令和2年度 第1回 函南町地域公共交通会議 議事録

日時 令和2年7月29日(水)

午後1時30分～

場所 函南町役場2階 大会議室

出席者 別紙出席者名簿参照

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

・書面協議において提出された意見及び対応について 資料2 説明

・函南町地域公共交通網形成計画(案)について 資料1-1、1-2 説明

・説明

質疑、意見

工藤委員	P.2、「白タク事業を進めてはどうか」というところの表記なのですが、これは白ナンバーを使った自家用の有償運送のことだと思われまますので、表記のほうを改めてもらってよろしいですか。
鈴木委員	そのとおりです。時間がなくて、書きなぐりの形になってしまっていて、ちょっと乱暴な表記になってしまいました。
山口委員	今のご指摘された件については、交通課長が目の前におられますのでちょっと誤解を招くかなと思っておりました。それはもう解決ということで。 以前もお話しさせていただきましたが、私は大阪から移住してきて8年目になります。P.3、鈴木さんの前回の意見だが、「観光・文化資源の活用とあるが特筆するような資源がない」とお書きになられております。これはどうしても地元の方というのは灯台下暗しで、この函南町の観光資源にお気づきでないようです。ですが、私たち外から来た人間がそこが見えます。もし函南町に魅力、観光資源がなければ移住してきておりません。一番の移住の動機というのは、函南町のダイヤモンドを含め、さまざまな地点からの自然豊かな環境と富士山の眺望です。これが最大の函南町にとっての素晴らしい資源です。観光農園や体験農園はどこ地域でもあります。オンリーワンなのはこの眺望なのです。この強みをいかに生かすか。それが函南町にとっての発展に極めて重大な要素になると思いますので、そこをぜひご理解いただきたいなと思います。そこがわかっていないとさまざまな施策が空回りしてしまいますので、お願いしたいと思います。 P.5、民生児童委員協議会の高橋会長さんの意見ですが、熱函道路は、伊豆箱根バスが朝夕2本、熱海まで路線バスを走らせていますよね。それ以外に相当数の回送バスが走行しています。ダイヤモンドは1800人住んでおります。それ以外にも中山間地域は合計で3000名以上の方がお住まいになられております。多くの方とこの関係で情報交換しておりますが、やはり熱函の回送バスのバス停をぜひ作ってほしいというご意見が極め

(くあります)

	<p>て多く。場所についてはお住まいの地域によってそれぞれの事情があるかと思いますが、基本的に熱函道路で停めるだけであれば、収入を得ることはできても経費はほとんどかかりません^(しまだ)。多少地域によっては裏道のほうに回ってほしいとかそれぞれあるかと思いますが。ぜひとも伊豆箱根^(とび)バスでバス停の設置をご検討いただきたいと思います。これは住民が切望しているということをぜひとも会社に持ち帰ってご報告をお願いしたいと思っております。</p>
伊豆原座長	<p>ご意見としてお伺いしておきたいと思います。 ほかにご意見がないようですので、意見と対応についてはご承認いただいたということによろしいでしょうか。 函南町地域公共交通網形成計画はパブリックコメントを終えてここまで来ました。いただいたご意見についてはご了承いただいたことですが、ほかに何かありましたらお受けしたいのですが何かありますでしょうか。</p>
工藤委員	<p>先ほどの資料2のところにも関連するのですが、本編のP.1、※4「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正」ということで、どういった内容で改正しましたということを今回新たにつけ加えていただいたかと思うのですが、この部分について、国土交通省のホームページには、「原則として、すべての地方公共団体において地域交通に関するマスタープランとなる計画を策定した上で、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら公共交通の改善や移動手段の確保に取り組める仕組みを拡充するとともに、特に過疎地などでは地域の輸送資源を総動員して移動ニーズに対応する取り組みを促すために改正した」という内容が書かれておまして、内容のほうを検討していただければなどと思、意見としてあげさせてもらいます。</p>
事務局	<p>確認させていただきました。ご指摘いただいたとおり、理念に基づいて修正をさせていただきますと思います。</p>
伊豆原座長	<p>国土交通省の改正の趣旨について報告いただきました。P.1の※4については今ご指摘いただいた形の文章にさせていただくということによろしいでしょうか。文章については確認して載せておきたいと思います。</p>
工藤委員	<p>資料1-1のP.30、数値目標のIV、地域の特性に応じた交通モードによる支線交通の形成というところで、交通空白地の解消に向けた新規案件1件という記載のところなんです、ほかの市町では公共交通カバー率を何%に上げるといった設定をしているところもあり、今後5年で1件のみでは満足度の向上につながらないというおそれもありますので、件数のほうを少なくとも「1件以上」という形にさせていただいたほうがより良いのかなと思います。 全体的な話になりますが、今後この計画を進めていく上で、P.16に方針や取り組みの一覧があるが、今後これに沿って事業を行っていくことになると思うのですが、事業の進捗を見極めていく上でもどんな感じで進めていくかというのを具体的にイメージして、実際に詳細については次のページから説明があるかと思うのですが、具体的に決まっている部分もあれば、そうではない部分もあるので、計画に沿って進められるよう具体的なイメージを持って進めていただき、また見直しを図っていただいて、P.30に掲げた数値目標を達成できるようにしていただきたいと思います。</p>
伊豆原座長	<p>「1件以上」については具体的なご提案であり、それ以外については事業を進めていく上でしっかりスケジュールを組んでPDCAを回しながら進めてくださいという趣旨です。</p>
山口委員	<p>数値目標は、根拠としてはデータやアンケートを書いています、これだけではなぜこの数値目標なのか、その根拠として合理的理由が理解できない。そのため、もう少し丁寧、口頭でもよいが、このアンケートはこうで、このように総合的に判断した結果、この数値目標設定になりましたという決定に至る根拠、論理的なプロセスを説明してい</p>

	<p>ただくと、私たちも委員の一人として住民に説明するときにとても説明しやすいし、住民も理解しやすいかなと思いますので、その点のご配慮をお願いしたいと思います。</p> <p>資料 1-2 の P.38 に丹那の小学校区の記載があります。ここも誤解があるようですので、その誤解を解消しておく必要があるという思いから、少し説明させていただきます。</p> <p>丹那小学校区のところに「ダイヤランドバスを利用可能とするのが現実的」と書かれています。これは全く事実誤認です。ダイヤランドバスは今まで管理契約者がお金を出しておりますので貸し切りバスとしての運行で、特定の方の輸送でしたが、平成 27 年からは乗合バスですので、ダイヤランドの住民に限らず、どなたでもご利用いただけます。もし拒否すれば乗車拒否になり、旅客運送法の違反になりますので、ここは誤解のもとにこのような文章になっているのではないかと、補正のほどお願いできればと思います。</p>
事務局	<p>目標値について説明させてください。Ⅰの 25 万人という数値目標につきましては記載させていただいた通り 2017 年度の実績ベースをもとに設定いたしました。実際この数字が本当に可能なのかというご疑義があると思いますが、地域公共交通の利用促進を進めていく中で、まず目標を高く上げる。情勢を見極めて、PDCA に基づいて適宜修正するというところでハードルを少し高めに設定させていただきました。</p> <p>Ⅲの 3.5 につきましては、持続可能な公共交通の推進の満足度が令和元年度に実施したところ 3.2 になっておりますので、これも先ほどと同じ理由で、PDCA を念頭に置きながら柔軟に対応できるようにまずは現状よりもというところで 3.5 という数字を設定させていただきました。</p> <p>Ⅱの実証運行の満足度につきましても、実績データがないため、Ⅲに合わせて 3.5 にしました。</p> <p>ダイヤランドバスの特定輸送から乗合輸送になっていることにつきましては、もう 1 度確認し、必要であれば適宜修正を考えさせていただきたいと思っております。</p>
伊豆原座長	<p>P.30 のⅣの目標値を「1 件以上」と提案いただいておりますが、これについてはよろしいでしょうか。皆様のご同意をいただいたということで、目標値は「1 件以上」とさせていただきますと思います。</p>
山田委員	<p>観光・文化資源の活用という記載がありますが、観光・文化資源を利用して人の賑わいを高めることは重要なことだと思っております。伊豆日日新聞の仁科町長のコラムで「旅路」という中で函南町のことをいろいろ書いて、富士山の景観が素晴らしいとか、そういうことを今コロナの関係でなかなか人の交流ができないというときに、文章によってそういうことを宣伝し、もっと多くの函南町の町民の皆さんに知ってもらおうということは大切なことだと思うので、広報に載せてはどうかと思います。</p>
伊豆原座長	<p>観光の話については対応させていただきたいと思っております。交通の話は観光をちゃんと考えてやってほしいという話だと思いますので。</p> <p>ほかにはよろしいでしょうか。もしなければ、今日いただいたご意見は皆さんから承認いただきましたので、修正点を修正し、資料についてももう 1 度確認させていただくということで、皆様のご承認をいただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>ご異議がないようであるということで、全員のご同意をいただきましたので、函南町地域公共交通網形成計画、計画編について、皆様のご同意のもとで策定させていただいたことにさせていただきます。</p>

4 その他

山口委員	<p>住民からいただいているご意見、ご要望を 3 点お伝えしたいと思います。</p> <p>スクールバスの関係については去年 1 年間何度も皆さん方にお伝えしてまいりました。</p>
------	---

	<p>法の規制緩和によってスクールバスは一般の乗降もできるようになった。^(ています)これは事実である。現に一般乗降客を認めた運行は全国各地で進んでおります。スクールバスの一般乗降はほとんど経費がかかりません。バス会社にとれば収益増になる。反対する理由・^{あけせん}根拠がない。こういうことはできることからまずやっていくことが大事ではないか。^{あけせん}この計画は5年計画でも、5年先まで待つ必要はないので、できることは1つ1つ目に見えた形でやっていく。これが住民目線からすると、行政はよくやってくれているという評価につながると思いますので、スクールバスの関係、またゆうゆうバスについても乗降ができるようにぜひともお願いしたいということが一点。^(湯トコ?)</p> <p>また、熱函道路にバス停を作ることが二点目。</p> <p>三点目は、畑毛路線は補助金600万円をいただいています。ダイヤランドは住民が600万円を出しており、この不公平感を解消することが大事だというご意見がとても多いです。このことをこの会議でぜひとも認識を共有していただいて、ご協力をよろしく願いたいと思います。</p>
事務局	貴重なご意見ありがとうございました。

5 閉 会

(以上)